

8/4
(日)

戦争と平和について考える 被爆体験伝承者による講話講演会

保原市民センター

lecture

被爆体験伝承者である星川雅^{ほしかわまさし}さんの講演会に市民約 70 人が参加しました。原爆投下による被害状況や被爆者のエピソードのほか、戦時中の暮らしや戦災孤児の存在など、戦争の悲惨さや平和への思い、それを伝え続けることの大切さについて語っていただきました。参加者は被爆体験を聞くことができる貴重な機会となり、「映画や物語ではなく実際の話



を聞き、改めて戦争のひどさを痛感しました」といった声が聞かれました。

8/7
(水)

読売ジャイアンツ 「福島県伊達市デー」を開催

東京ドーム（東京都）

event

プロ野球読売ジャイアンツのホームゲームで、市の魅力を発信する「福島県伊達市デー」を開催しました。須田市長から両チームに伊達市産桃（各 40*₀）を贈呈したのち、今年度創設された聖光学院女子硬式野球部が登場。部員 29 人が各 4 人ほどに分かれて守備位置につき始球式も務めました。市とジャイアンツが



コラボしたクリアファイルの配布や市特産品が当たる抽選も行い、約 4 万 1,000 人の観客に市の魅力を PR しました。

8/3
(土)

手話に触れよう！楽しもう！ 第 3 回 伊達市手話まつり開催

保原市民センター

event

たくさんの人に手話を身近なものと感じてもらうために、市内の手話サークルが一堂に会して手話まつりを開催しました。伊達市手話まつり実行委員会の佐野 誠 委員長は「みなさん、手話での交流を楽しみましょう」と話し、ステージでは「国際手話ミニ講座」や「手話ソング」「手話劇」が披露され、楽しみながら



手話への理解を深める人たちの姿が見られました。魚釣りや射的といったブースも多数並び、終日にぎわいました。

8/4
(日)

仙台市でトップセールス 伊達市産農産物を PR

宮城県仙台市

event

桃 やきゅうりなど伊達市産農産物の認知度を上げるため、イオンスタイル仙台卸町でトップセールスを行いました。須田市長は「自信をもってお勧めできる甘い桃ができました。生産量日本一の夏秋きゅうりと共に味わっていただきたいです」とあいさつ。ミスピーチキャンペーンクルーの菰川日向子^{はらいかわひなこ}さん



による PR や購入者への桃ジュースのプレゼントなどを行い、桃やきゅうりを買求めるお客さんでにぎわいました。

7/30
(火)

健康・生活・自然を守るために 各分野の代表を二つの委員に委嘱

伊達市役所

ceremony

公害防止対策協議会委員を初めて設置し、5 人に委嘱状を交付しました。公害防止に関する対策を進めるため、委員の皆さんからさまざまな意見をいただき、健康および生活環境の保全に努めます。

環境基本計画推進会議委員 9 人を新たに委嘱し、「伊達市環境基本計画推進会議」を開催しました。本会議は、現状を踏まえた意見を吸い上げ、かけがえない環境保全に関する計画推進に役立てていきます。



伊達市公害防止対策協議会委員



伊達市環境基本計画推進会議委員

7/30
(火)

第 106 回全国高校野球選手権 聖光学院が福島県大会優勝を報告

伊達市役所・福島県営あづま球場

report

聖光学院高校の新井 秀 校長と野球部の斎藤智也監督、横山博英部長、佐藤羅天主将が市役所を訪れ、7 月 28 日に行われた福島県大会の優勝を報告しました。斎藤監督は「今年ほど 1 試合 1 試合で成長を感じた年はありません」と話し、佐藤主将は「いろんな人の支えがあって、大好きな野球をできていると感じます」と話しました。甲子園大会では惜しくも初戦で敗れてしまいましたが、市民にたくさんの感動を与えました。



7 月 30 日



7 月 28 日

7/19
(金)

今年も伊達の桃を PR ! 市長が茨城県筑西市を訪問

茨城県筑西市

exchange

伊達氏の祖、伊達朝宗ゆかりの地である茨城県筑西市を訪問しました。昨年度に続いて 2 回目の訪問で、今回も伊達市の桃を PR しました。須田市長は「伊達市には 26 種類もの桃があり、6 月から 10 月までさまざまな味覚と食感の桃が楽しめます。また、昨年度、下館祇園祭りにて明治神輿を担いだこと



が大切な思い出になりました」と伝えました。今後も、文化や産業の交流が深く、そして強くなることを期待しています。

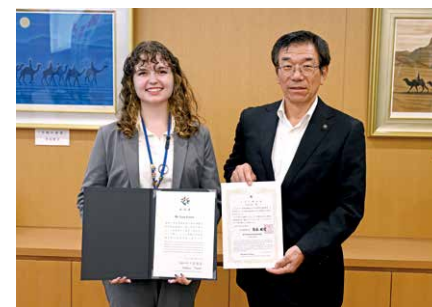
7/30
(火)

3 年間、国際交流に大きく貢献 国際交流員のララが退任

伊達市役所

ceremony

令和 3 年 11 月より伊達市国際交流員として活動をはじめ、幼稚園や認定こども園での英語体験や市民向け英語教室、外国人向け日本語教室などを行いました。また、トリビアナイトなどの新しいイベントも企画し、市の国際交流に大きく貢献されました。須田市長は「ララさんの明るく親しみやすい人柄は多く



の人に愛されていました」とあいさつ。ララさんは「伊達市での 3 年間の経験を一生誇りに思います」と述べました。